教育旅行（修学旅行）レポート

多感な中学生にとって教育旅行（修学旅行）は学生時代の一大イベントだ。楽しみでもあり、また不安でもある。非日常の場に身を置き、その土地ならではのものに触れ、見て、人と接することで視野が広がることもある。ここでは充実した教育旅行（修学旅行）を実施する３校の取り組みを紹介する。

世田谷区立用賀中学校
能登、金沢など北陸方面
23年7月5～7日

草開宣晶校長

昭和34年（1959年）に創設された東京都の世田谷区立用賀中学校は、「人の心の痛みが分かる人間になろう」をモットーとした教育活動を行っている。その教育方針のもと、「とても心が豊かで、そして、心が温かい生徒が多い」と草開宣晶校長は胸を張る。

3年生で実施する修学旅行は従来、京都、奈良を中心とする関西方面を行き先としていた。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大が進み学校が休校や分散登校となる中で、2020年度の修学旅行は中止。21年度は実際に現地には行かず、西方面への修学旅行は実施の2年前に旅行業者と契約を結ぶ必要がある。22年度の修学旅行については、2年後に実施できるかどうか先の状況が見えない中、できるだけ旅行業者との契約を後に延ばしたいという考えから、それが可能な北陸方面に決定した。

そのほか北陸方面の利点として、石川県が修学旅行を